

## 特許協力条約

PCT

## 国際予備審査報告

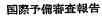
REC'D 0 3 JUN 2004

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の書類記号 03042PCT	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知(様式PCT/ IPEA/416)を参照すること。				
国際出願番号 PCT/JP03/09753	国際出願日 (日.月.年) 31.07.2003 (日.月.年) 31.07.2002				
国際特許分類 (IPC) Int. Cl' Cl2P 17/16 31/5377, 31/551, A61P 3/10, 9/00, 9/10, 17/06, 15	5, C12N 1/20, C07D 313/00, 405/14, 407/06, A61K 31/365, 31/4025, 31/4523, 31/4545, 31/496, 9/02, 27/02, 29/00, 35/00, 35/04, 43/00//(C12P 17/16, C12R 1:465) (C12N 1/20, C12R 1:465)				
出願人(氏名又は名称) メルシャン株式会	社				
1. 国際予備審査機関が作成したこの	国際予備審査報告を法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する。				
	紙を含めて全部で 5 ページからなる。				
この国際予備審査報告には、附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関に対してした訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面も添付されている。 (PCT規則70.16及びPCT実施細則第607号参照) この附属書類は、全部でページである。					
3. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。					
I × 国際予備審査報告の基礎					
I 優先権					
III X 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成					
IV 開の単一性の欠如					
V × PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明  VI × ある種の引用文献					
VII 国際出願の不備					
VⅢ □ 国際出願に対する意見					
国際予備審査の請求書を受理した日 24.12.2003	国際予備審査報告を作成した日 13.05.2004				
名称及びあて先	特許庁審査官(権限のある職員) 4 B 3 1 3 1				
日本国特許庁(IPEA/JI 郵便番号100-8918	5 上條 築				
東京都千代田区設が関三丁目の	4番3号 電話番号 03-3581-1101 内線 3448				



I. 国際予備審査報告の基礎
1. この国際予備審査報告は下記の出願容類に基づいて作成された。 (法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に 応答するために提出された差し替え用紙は、この報告書において「出願時」とし、本報告書には添付しない。 PCT規則70.16,70.17)
× 出願時の国際出願書類
明細書       第       ページ、 出願時に提出されたもの         明細書       第       ページ、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの         明細書       第       ページ、 一       一
請求の範囲 第       項、       出願時に提出されたもの         請求の範囲 第       項、       PCT19条の規定に基づき補正されたもの         請求の範囲 第       項、       国際予備審査の請求書と共に提出されたもの         請求の範囲 第       項、       付の書簡と共に提出されたもの
図面       第       ページ/図、出願時に提出されたもの         図面       第         図面       第         図面       第         ページ/図、国際予備審査の請求書と共に提出されたもの         付の書簡と共に提出されたもの
明細書の配列表の部分 第
2. 上記の出願書類の言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願の言語である。
上記の書類は、下記の言語である 語である。  国際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)にいう翻訳文の言語  PCT規則48.3(b)にいう国際公開の言語  国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3にいう翻訳文の言語  国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3にいう翻訳文の言語  この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。  この国際出願に含まれる書面による配列表  この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる配列表  出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された書面による配列表  出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された磁気ディスクによる配列表  出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述
書の提出があった
4. 補正により、下記の書類が削除された。



ш.	現性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成	
		D理由により
	国際出願全体	
	青求の範囲 44 - 46	
_		
理由:		
× 3	の国際出願又は請求の範囲 <u>44 - 46</u> は、国際予備審査をすること の事項を内容としている(具体的に記載すること)。	を要しない
**************************************	в また	であ、より、のであ
	細魯、請求の範囲若しくは図面(次に示す部分)又は請求の範囲 載が、不明確であるため、見解を示すことができない(具体的に記載すること)。	
1		
	≧部の請求の範囲又は請求の範囲 昼付けを欠くため、見解を示すことができない。	事による十分な
  X	青求の範囲 44 - 46 について、国際調査報告が作成され <sup>、</sup>	ていない。
اسا	マクレオチド又はアミノ酸の配列表が実施細則の附属 <b>書C(塩基配列又はアミノ酸配列を含む明細</b> 費等の サイドライン)に定める基準を満たしていないので、有効な国際予備審査をすることができない。	の作成のための
	] 書面による配列表が提出されていない又は所定の基準を満たしていない。	



v.	新規性、進歩性又は産業上の利用可能 文献及び説明	能性についての法第12条(PC	T35条(2)) に定める見解、それを 	· <b>裏付ける</b> 
1.	見解			
	新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	1-43, 47-55	有 無
	進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲 	1-43, 47-55	有 無
	産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	1-43, 47-55	有 無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献 1: JP 4-352783 A (大正製薬株式会社) 1992.12.07

請求の範囲1-43、47-55に係る発明は、国際調査報告に引用された上記文献1に対し、進歩性を有する。 文献1には、本願の式(I)で表される化合物が記載されておらず、しかも、その点は、文献1の記載から当業者といえども容易に想到し得ないものである。



国際予備審査報告		国際出願番号 PCI/JF03/09753		
. ある種の引用文献				
. ある種の公表された文書(PCT	規則70. 10)	•	•	
出願番号 特許番号	公知日 (日.月.年)	出願日 (日.月.年)	優先日(有効な優先権の主張 (日.月.年)	
WO 02/060890 A1 「EX」	08. 08. 2002	01. 02. 2002	01. 02. 2001	
		· .		
2. 魯面による開示以外の開示(P C				
<b>書面による開示以外の開示の種類</b>	書面による開示以外の (日.月.年)	<b>帰示の日付 書面に。</b> 	書面による開示以外の開示に言及してい 書面の日付(日.月.年)	
			,	